

保護者 様

松戸市立相模台小学校  
校長 保坂 和志

## 令和4年度教育活動に関するアンケート結果について

早春の候、保護者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動につきまして、ご支援と御協力を賜りありがとうございます。

さて、12月に実施しました「教育活動に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、下記により概要をお知らせいたします。

## 記

## 1. アンケート回答数

児童回答数 714名 保護者回答 525名 職員回答 26名

## 2. 結果

No.	質問内容		とても あてはまる	あてはまる	あまり あてはまらない	あてはま らない	肯定的評価	否定的評価
1	子どもたちは、毎日元気に楽しく学校に通っていると思いますか。	児	61.8%	30.7%	5.2%	2.4%	92.4%	7.6%
		保	57.5%	35.0%	6.3%	1.1%	92.6%	7.4%
		職	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
2	子どもたちは、あいさつがしっかりとできていると思いますか。	児	45.7%	39.1%	12.5%	2.8%	84.7%	15.3%
		保	18.0%	36.2%	11.4%	1.4%	81.0%	19.0%
		職	3.8%	69.2%	26.9%	0.0%	73.1%	26.9%
3	子どもたちは、規則正しい生活をしていると思いますか。	児	38.4%	43.0%	13.4%	5.2%	81.4%	18.6%
		保	22.8%	34.5%	8.1%	0.8%	86.7%	13.3%
		職	11.5%	73.1%	15.4%	0.0%	84.6%	15.4%
4	子どもたちは、友だちと仲よくしていると思いますか。	児	71.7%	23.9%	2.8%	1.5%	95.7%	4.3%
		保	36.3%	25.2%	4.9%	1.2%	91.0%	9.0%
		職	19.2%	80.8%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
5	子どもたちは、人を思いやる心や感謝の気持ちが育っていると思いますか。	児	53.1%	39.8%	5.0%	2.1%	92.9%	7.1%
		保	23.1%	35.7%	0.2%	0.2%	92.2%	7.8%
		職	11.5%	73.1%	15.4%	0.0%	84.6%	15.4%
6	子どもたちは、主体的に勉強を頑張っていると思いますか。(例:自主学習スタスタ貯金等)	児	47.7%	43.2%	7.3%	1.8%	90.9%	9.1%
		保	15.9%	28.8%	18.7%	5.2%	65.1%	34.9%
		職	16.7%	79.2%	12.5%	0.0%	88.5%	11.5%
7	子どもたちは、運動に親しみ、体力づくりに励んでいると思いますか。	児	56.3%	21.8%	15.4%	6.4%	78.2%	21.8%
		保	22.1%	29.7%	14.7%	1.3%	76.4%	23.6%
		職	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%	84.6%	15.4%
8	子どもたちは、健康(手洗い・うがい・新型コロナウイルス感染症拡大防止等)や安全(登下校も含む)に注意した生活をしていると思いますか。	児	61.1%	30.5%	6.0%	2.4%	91.6%	8.4%
		保	29.5%	34.3%	4.6%	0.7%	92.4%	7.6%
		職	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%	92.3%	7.7%
9	学校は、一人一人を大切にされた教育をおこなっていますか。	児	59.9%	29.7%	7.1%	3.2%	89.6%	10.4%
		保	15.2%	47.5%	7.4%	1.6%	87.4%	12.6%
		職	26.9%	65.4%	7.7%	0.0%	92.3%	7.7%
10	学校は、ICTを活用したわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	児	58.8%	29.8%	8.4%	2.9%	88.7%	11.3%
		保	13.0%	45.9%	11.5%	1.4%	82.1%	17.9%
		職	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%	76.9%	23.1%
11	自分の意見をわかりやすく伝える・相手の伝えようとしていることを理解することができる指導をしていますか。	児	45.7%	37.7%	13.7%	2.9%	83.3%	16.7%
		保	14.8%	44.3%	8.4%	1.2%	86.1%	13.9%
		職	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%	92.3%	7.7%

No.	質問内容		とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的評価	否定的評価
12	学校は、コロナ禍ではありますが、学年に応じて工夫した教育活動に努めていると思いますか。 ※校外学習、総合的な学習の時間、Webを活用した授業や全校朝会等	保	43.4%	51.8%	4.0%	0.8%	95.2%	4.8%
13	学校は、思いやりや社会性を育てるため心の教育に取り組んでいると思いますか。	保	24.0%	64.2%	10.7%	1.1%	88.2%	11.8%
14	学校は、いじめのない楽しい学校(学級)づくりに努めていると思いますか。	保	22.1%	66.9%	9.3%	1.7%	89.0%	11.0%
15	学校は、子ども一人一人をよく理解し、悩みや相談に適切に対応するように努めていると思いますか。	保	21.3%	59.1%	11.1%	0.8%	88.1%	11.9%
16	学校は、子どもたちの体力向上に取り組んでいると思いますか。	保	35.4%	59.6%	4.4%	0.6%	95.0%	5.0%
17	学校は、児童の安全確保のために努力していると思いますか。	保	34.7%	58.7%	5.5%	1.1%	93.3%	6.7%
18	学校は、子どもたちが自ら安全について考え、行動できるような安全指導に努めていると思いますか。	保	25.5%	65.9%	7.8%	0.8%	91.4%	8.6%
19	学校は、清掃や環境美化に努めていると思いますか。	保	28.6%	63.4%	7.4%	0.6%	92.0%	8.0%
20	学校は、子どもたちの様子や施設の公開・情報の提供・交換等を進め「開かれた学校づくり」に努めていると思いますか。	保	36.0%	58.7%	5.0%	0.4%	94.7%	5.3%

### 3. 考察

アンケート結果を見ると概ね肯定的評価の多い結果となりました。今年度コロナ禍でも感染対策を講じた上で、運動会、音楽集会、校外学習、林間学園、修学旅行、持久走記録会など教育活動を工夫してきたことが結果に繋がっているのだと考えられます。

その上でNo.1「毎日元気に楽しく通っている」No.4「友だちと仲よくしている」の評価が児童・保護者・職員ともに90%以上の肯定的評価は、日頃の教育活動の成果だと感じています。しかし、7.6%の児童が否定的評価をしています。次年度改善できるよう、引き続き声かけを行っていきたいと思います。

また、No.7「体力づくりに励む」は児童・保護者ともに肯定的評価が80%未満でした。しかし、前年度よりも割合は向上しています。コロナ禍で制限があった学校生活も徐々に戻ってきていることを感じます。No.2「あいさつ」もまだまだ高い評価とは言えません。規則正しい生活と同様、あいさつはとても大切です。保護者と学校とが連携して改善に向けて取り組んでいくことの必要性を感じました。

来年度、肯定的評価が低かった内容に関しても新たな方法で指導したり、取り組ませ方を考えたりと、よりよい教育活動が行えるよう改善に向けて努めて参ります。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

## (1) 生活面

### 【No.2 「挨拶」】

挨拶は基本的な生活習慣の一つです。今年度は毎月の生活目標で二度取り入れるなど、児童に挨拶を意識して生活できるようにし、教員も挨拶の大切さについて日々指導してきました。しかし、クラスメイト、あるいは担任など特定の人物に限られていたということがありました。また「自分は社会とつながっている」「様々な人が関わっている」という意識が低かったことが、今回の結果につながった部分があると考えます。そのため、今後とも職員が挨拶についての共通理解を図り、まずは職員から率先して挨拶を行うとともに、進んで挨拶ができる児童の育成を目指し、指導を継続していきます。

### 【No.3 「基本的な生活習慣」】

児童、保護者、教員全てにおいて肯定的評価は90%を切っています。学校生活では、時間割に沿って生活をしています。多くの児童は時刻やチャイムを意識し、行動していますが、休み時間後も遊び続けたり、授業の開始に間に合わないことがあったりする児童もいます。スマートフォンやタブレットでの夜更かしなど不摂生している実感を持つ児童も多いようです。学校では、気持ちの切り替えや、一日の見通しを持って生活できるよう指導するとともに、実態に応じて〇分前行動が身につくように努めます。

## (2) 学習面

### 【No.6 「主体的な学習」】

児童の肯定的評価は昨年より9%増加していますが、保護者が自主学習スタスタ貯金等家庭学習の取り組み方にまだ課題を感じています。考えられることは、「自分自身の課題が発見できない」「学習塾や習い事の課題が優先されてしまう。」など様々なことが考えられます。日々の家庭学習は必要不可欠です。児童が主体的に取り組むことができるように、スタスタ貯金の取り組み方を再確認し、家庭学習の取り組み例などを新たに紹介するなど。家庭学習について学校から発信を継続的に行います。

### 【No.7 「運動に親しむ」】

学校では体育部で検討し、職員共通理解のもと目標をもって体力の向上を目指してきました。持久走への取り組み、縄跳び週間など、計画的に運動に親しむ機会を設けています。生涯にわたって健康を維持するためにも、運動に親しむことは重要です。コロナ禍においても運動に親しむ機会を設け、今年度は持久走記録会など保護者の方々に公開できるものもありました。ところが、児童と保護者の肯定的な評価は8割を切っています。これはコロナ禍における制限による影響がまだ残っていることも考えられます。今後とも児童のがんばりの様子を学校便りやホームページ等で周知していきます。家庭でもさらなる運動や体力づくりの取り組みをお願いしていくことも必要だと考えています。

### 【No.10 「ICT を活用したわかりやすい授業づくり」】

教員はわかりやすい授業を目指し、ICT の効果的な活用をはじめとする様々な授業改善に取り組んでいます。教員研修でもプログラミング学習やタブレット活用研修を行いました。しかし、それがまだわかりやすい授業とまではいっていないようです。引き続き自己研鑽を積むことが必要だと考えます。教員自身が学びを続け、授業づくりを含めた指導力向上に努めていきます。同時に川島隆太教授の講演にあったように、わかりやすい授業と ICT の活用に相互関係があるか考えていく必要があります。

### 【No.11 「自分の意見をわかりやすく伝える」】

コロナ禍であっても様々な工夫によって児童の意見交換の場を設けて取り組んできました。しかし、自分の意見を発信する自信のなさが、「わかりやすく伝える」ということにつながらないという課題もみられました。繰り返し発表の経験を行うことや ICT の効果的な活用をすることで、わかりやすく相手に伝える力を習得することができるよう、職員も研修を重ねながら指導していきます。

また、言語活用科等で習得したスキルとしての「伝え方」をより実生活の場や、様々な活動の中で活用できるようにも指導していきます。

### (3) その他

#### 【No.13. 「思いやりを育てる」 No.14. 「いじめのない学校」】

いじめの実態把握と根絶は重要課題の一つです。いじめアンケートを年11回実施し、事後確認や事後指導を行っています。前回の評価よりも低下していたという結果を真摯に受け止め、「いじめ全体許さない」「つらい思いをしている人に寄り添いながら、いじめを見過ごさない」「人権意識をもつ児童を育てていくこと」を課題として、いじめの早期防止、早期発見、早期対応に努めていきます。そして豊かな人間関係を育む人権教育を進めていきます。

#### 【No.15 「悩み相談」】

肯定的な意見が 88.1%と低い結果でした。教育相談や学校アンケート等で相談する機会を設けていますが、引き続き危機意識を教員全体で共有する必要があります。学校でも教育相談の体制があります。しかし、児童は年齢が上がっていく中で、相談相手として徐々に教員や保護者よりも友だちを優先する傾向が見られます。保護者との連携を密にし、児童の良き相談相手としてしっかり人間関係を築けるよう、日々取り組んでいきたいと思えます。